

秋の実践交流発表会



一緒に考えてみませんか？ネット社会と子どもたちのこと

～ 情報社会に参画する態度を養う授業実践と講演会 ～

一般社会においては、情報環境の急激な変化が起こっており、これまででは考えられないようなコミュニケーション手段が子どもの生活と心に入り込んでいます。子どもたちにネチケットを身に着させ、情報社会に参画する態度を育む機会を与えることは、学校教育の担うところが大きいように思われます。そこで、今回は、滋賀県大津市立瀬田小学校の石原一彦先生をお迎えし、「情報社会に参画する態度を養う授業実践と講演会」を企画しました。皆様のお越しをお待ちしております。

日 時 10月23日(土) 13:30～16:00 (受付 13時～)

場 所 金沢市立長田町小学校 金沢市長田1丁目5-40 TEL 076-231-7221

13:30 開会

13:35～ 5分プレゼンによる授業実践発表(6名)

14:50～15:50 講演

15:50～16:00 閉会

演題 「小学校における情報モラルの指導」
滋賀県大津市立 瀬田小学校 石原一彦先生

石原先生の紹介 (<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/htm/4872611101.html> より抜粋)

1999年から大津市立瀬田小学校教諭。前任校の大津市立平野小学校において、1995～6年には「100校プロジェクト」、1997～98年には「新100校プロジェクト」に参加。瀬田小学校赴任後の1999～00年には「Eスクエア・プロジェクト」に参加するなどして、情報教育の導入・研究に携わってきた。また、情報教育カリキュラム・パッケージ「インターネットを正しく安全に使おう」、Eスクエア・プロジェクト「ネット社会の歩き方」をはじめ多くの情報教育カリキュラムを開発するとともに、その成果を講演・論文で頻りに発表している。

「伝える力を意識した、ユネスコ世界寺子屋運動リーフレット作りの取り組み」

金沢市立長田町小学校

池岸晃弘教諭

リーフレット作りを目標に児童が得意とする方法で、先生や全校、一般の方へプレゼンを行う。

1度ではなく、2度、3度と繰り返すことで、修正し、自然とレベルアップしていく。

「先生もGenkiになる英語活動」
津幡町立中条小学校

基村俊成教諭

英語活動をどのように進めていけばよいか迷っていませんか？「ネイティブな英語がしゃべれない…」と悩んでいませんか。

そんな先生方へ、「Genki English!!」を活用した実践です。もちろん、子どももGenkiになります。

「アニメを使った算数文章題の
効果的な提示」

金沢市立味噌蔵小学校

瀬田俊人教諭

算数の文章題の題意をつかませるために、アニメを使って提示することで、複数の解法を導き出すことができた。アニメの「動くゆえに消えてしまう」という欠点をどう改善したらよいかを研究した実践です。

5分プレゼン発表者の実践紹介

「ズバリ言いましょう！」

～キャッチ力のあるタイトルをつける～

金沢市立戸板小学校 泉紀恵教諭

子ども達が言いたいことをズバリと言えたら、授業はもっと活性化するはず！

“ズバリ”と“キャッチ力”をキーワードにして、タイトルの付け方を考えた取り組みです。

体験して理解する情報モラル

石川県教科書販売所

辻村 薫ITサポーター

情報モラルに関する実際の事例を紹介したいと思います。

情報モラルの学習で大切なことは

- 繰り返すこと
- 体験させることだと考えています。

デジタルを利用した学習環境分析
～「知的に挑戦する学習環境づくり」の実践を通して～

金沢市立浅野川小学校

山本 洋教諭

デジタルカメラを用い、学校の校舎・設備全般の学習環境を調査記録する。そしてそのプリントアウトした画像から既設の学習環境の活用状況を見直し、改善の可能性を探った実践です。